


横形偏心検査器（両センターで横向きに測定物を押さえるタイプ）

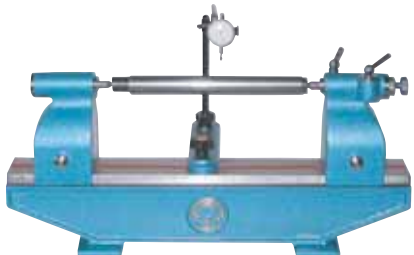
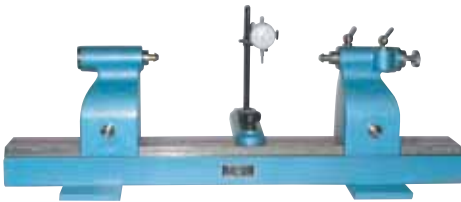
小形偏心検査器（SB-1、SB-2）

		<p>小形の偏心検査器で左右のシャフトを移動させて測定物をチャッキングして、上のノブで固定します 小形、軽量のため作業台だけではなく、どこでも持ち運びや設置が容易で当社のミニマグネットベース専用台付で、特殊逆センターを使用してセンター穴のないものも測定できます 逆センターではφ 2.5 ~ φ 5.6 まで測定可能です 通常は MT1 センターで両サイドクランプして測定下さい</p>					
コードNo.	名称	全長	センター間	センター高	センター間精度	重量	使用センター
6067131	SB-1	200	0 ~ 50	80	0.005mm	4K	特殊 MT1
6067132	SB-2	220	0 ~ 100	80	0.005mm	5K	特殊 MT1

P 形偏心検査器（P-1、P-2、P-3）

		<p>センター高さ（測定面からセンター中心まで）110mm の全長のみが変わり 3 タイプです センターの出入りは写真右のヘッド後ろのノブで行い、奥のレバーで固定します ノブにはセンター出入りの強さを調節できるつまみもあり、細い形状には押さえるバネ強さを調節して使用下さい ダイアルゲージスタンドは付属です（ダイアルゲージは別）</p>					
コードNo.	名称	全長	センター間	センター高	センター間精度	重量	使用センター
6067111	P-1	350	0 ~ 150	110	0.005mm	10K	ハイス MT1
6067112	P-2	400	0 ~ 200	110	0.005mm	14K	ハイス MT1
6067113	P-3	500	0 ~ 300	110	0.005mm	17K	ハイス MT1

標準形偏心検査器（No. 1、No. 2、No. 2-1）ロングタイプ（No. 1-1、No. 1-2）

 <p>No. 1、No. 2、No. 2-1、タイプ</p>		 <p>No. 1-1、No. 1-2 タイプ</p>		<p>No. 1-1 と No. 1-2 は No. 1 のロングタイプです 形状は写真通りで No. 1 とは別となります No. 2-1 は No. 2 のロングタイプですが形状はほぼ同じです</p>			
<p>両センターで測定物を押さえるタイプで写真ヘッド（頭部）右の手前のノブでセンターの出入りを行い奥のノブで固定します ダイアルゲージスタンドは付属です（ダイアルゲージは別）</p>							
コードNo.	名称	全長	センター間	センター高	センター間精度	重量	使用センター
6067101	No. 1	700	0 ~ 400	150	0.006mm	45K	超硬 MT1
6067201	No. 1-1	800	0 ~ 500	150	0.007mm	50K	超硬 MT1
6067202	No. 1-2	900	0 ~ 600	150	0.008mm	60K	超硬 MT1
6067102	No. 2	1200	0 ~ 800	240	0.010mm	120K	超硬 MT2
6067103	No. 2-1	1400	0 ~ 1000	240	0.012mm	140K	超硬 MT2